

日本政策総研 みやわき経済3分レポート(臨時版)(2024.3.21)

《日本銀行金融政策転換》

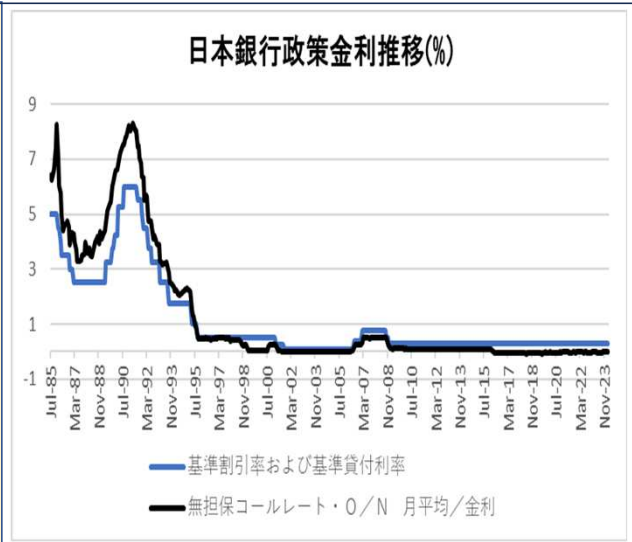
日本政策総研代表取締役社長
宮脇 淳

ご質問・さらに知りたい方は、
QRコードからご連絡ください



マイナス金利政策解除、但し「普通の金融調整」?

日銀は、マイナス金利政策を3月19日に解除し、「金利のある世界」へと転換した。但し、植田総裁は「異次元緩和の遺産は残り続ける」とし、今回の措置を「普通の金融調整」と説明、急速な金利上昇や金融環境の変化は意図しないとした。このため市場は織り込み済み要因とし、為替相場も足元、円安となった。なお、20日FRBは米国金利の据え置きを決定したものの、年内3回の利下げ想定は変更しない姿勢を示している。(資料)日本銀行



企業貸出金利、住宅ローン金利上昇圧力

三菱UFJ銀行は3月21日から円普通預金金利の引上げを明示した。政策解除は、国内的には住宅ローンに影響を与え、固定型は長期金利上昇で上がる傾向、変動型は足元で安定している短期プライムレート次第で今後の動きが注視される。また、企業貸出し金利は各金融機関の判断によるが、コスト増に伴い上昇圧力が高まる。但し、日銀、政府も急速な金利上昇は避け、国内政策的には緩やかな金利動向を見込んでいるといえる。(資料)日本銀行



為替相場円安に (右図=3/20一日の為替レート)

日銀の政策解除を受けて為替相場は円安に振れ、20日シドニー市場では151円台となった。日銀、政府共に急速な金利上昇は意図しない姿勢を示したため、実質的な日米金利差に当面変化なしとの判断で円が売られた。152円前後の壁が相場上あり、20日のFRBが年内3回の利下げを想定し円安に一時歯止めがかかったものの、円高では140円前後が壁となるため、今後の日本経済に与える影響を注視する必要がある。(資料)三菱UFJ銀行



内容に関するお問い合わせ : (株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL:<https://forms.gle/H7jdEftkQ4S87nNC6>